

京都読者謝恩ブックフェア開催	1
BookExpo2018出展募集中	2
IGAS2018開催	2
出版ミニセミナー	3

フランクフルト・ブックフェア ジャパンパビリオン出展社募集中



(一社) 出版文化国際交流会 (PACE) と (一社) 日本書籍出版協会 (書協)

は、10月に開催されるフランクフルト・ブックフェアに、今年もジャパンパビリオン (日本共同ブース) を共同出展する。現在、出展社を募集している。

フランクフルト・ブックフェアは、毎年10月に開催され、世界100カ国以上の出版業界の専門家が一堂に会し、国際著作権ビジネスの商談を行う世界最大規模のブックフェアで、毎年日本からも多くの出版社が出展している。

今年は10月10日 (水) ~14日 (日) まで開催、テーマ国は「ジョージア」。ジャパンパビリオンは4号館1階正面入口に至近の好立地の場所となる。

長年日本の出展を取りまとめてきたPACEに加え、2016年からは書協も共同出展者として参加し、日本としての統一感のあるデザインのもと、ジャパンパビリオンを構成している。



昨年のジャパンパビリオンの様子

また、今年は昨年よりブースを広げ214㎡とし、共同イベント等も計画し、より日本をアピールする。さらに、会期2日目の夕方には、ハッピーアワー・パーティーをジャパンパビリオン内で開催予定。

ジャパンパビリオンへの出展の方法は、下記の通り。

■申込み・問合せ PACE (yokote@pace.or.jp)

■締切 6月15日 (金)

■申込み内容

◆A 単独ブース (8㎡, 12㎡, 12㎡超)

スペース借料 1㎡あたり459ユーロ

(8㎡が最少単位)

マーケティング料 299ユーロ

環境保護費 8~12㎡ 90ユーロ

12㎡超 230ユーロ

※その他、事務手数料等が加算される。

※ブース施工費は施行業者に直接相談。

◆B コーナー出展 (1m幅単位)

ジャパンパビリオンの共同ブース内に、展示台1m幅単位で申し込める。担当者が現地出張せず本の出展のみも可能。

1m幅壁面につき PACE・書協会員 155,000円

その他 210,000円

(税込)

※料金に含まれるもの：棚4段、社名表示版、出展者パス、小テーブル1、折りたたみ椅子2

詳細は下記URLを参照。

<http://jbpa.or.jp/pdf/documents/fbf2018.pdf>

【昨年の報告】

期間：2017年10月11日 (水) ~15日 (日)

出展者数・参加国：7,309社・102カ国

来場者数：286,425人

ジャパンパビリオン (136㎡)：

単独ブース 5社、コーナー出展 8社

(詳細問合せ PACE 03-3291-5685)

第2回 京都読者謝恩 ブックフェア

一般社団法人出版卒会主催で、第2回京都読者謝恩ブックフェアを、6月2日~6月24日まで京都の3書店にて開催する。

本フェアは、東京以外で、書店店頭の集客に直接寄与する再販制度弾力運用としての読者謝恩を行うことを主旨とし、将来の発展的な展開も視野

に入れつつ実験的な規模で実施するもので、昨年も開催され、今年は2回目となる。

◆実施書店

- ・ふたば書房ゼスト御池店
6月3日（日）～6月15日（金）
- ・丸善京都本店地下2階イベントスペース
6月4日（月）～6月24日（日）
- ・大垣書店イオンモールKYOTO店イベントスペース
6月2日（土）～6月24日（日）

◆フェア内容

参加出版社の書籍（計約1000点強）を期間中、実施書店の裁量で値引き販売を行う。該当する商品については出版粋会と各書店との間で直接委託取引により納品を行う予定。

◆参加出版社（29社）

明日香出版社、偕成社、河出書房新社、金の星社、芸術新聞社、幻戯書房、国書刊行会、作品社、三省堂、新星出版社、大和書房、淡交社、筑摩書房、中央経済社、東洋館出版社、ナカニシヤ出版、西村書店、日貿出版社、日本実業出版社、日本標準、白水社、博文館新社、原書房、ひかりのくに、ビジネス教育出版社、文一総合出版、平凡社、ベレ出版、法学書院

（詳細問合せ先 出版粋会 ☎ 03-3292-2323）

大阪「BOOK EXPO 2018」 出展募集中

「BOOK EXPO 2018 ～貫け！書店魂～」(主催：同実行委員会・洞本昌哉委員長・ふたば書房)は、11月7日(水)午前11時から午後6時の日程(開会セレモニー10時40分開催)で、グランフロント大阪・コングレコンベンションセンターにて開催し、230ブースの出展を目指している。今年も商談とともに楽しめるイベントを企画。また、OsakaBookOneProject等の特別ブースの設置、児童書コーナーでは絵本作家さんのサイン会・トークイベントも実施する予定。

現在、出展募集中。

【募集要項】

申込み締切：6月22日（金）17時

申込み先 : <http://www.jpic.or.jp/event/syoudankai/osaka-bookexpo.html>

ブース種別：一般、児童書、コミック、第三商材

出展料：1ブース32,400円（税込）

※ジャンルの異なる2ブース目からは27,000円（税込）

【参考 前回2017】

出展社243ブース、来場書店1,056名

商談成立5,279件、総額101,488,237円

その他の地域でも商談会は広がりを見せており8月には「第2回 日本ど真ん中書店会議」（名古屋）、9月「九州選書市2018」「第五回 北海道書店大商談会」、12月「しぞ～か本の日！」（静岡）、来年2月「書店大商談会」（東京）が予定されている。

（詳細問合せ JPIC ☎ 03-5211-7282）

IGAS2018

International Graphic Arts Show



IGAS（国際総合印刷テクノロジー&ソリューション展）2018は、一般社団法人日本印刷産業機械工業会とプリプレス&デジタルプリンティング機材協議会主催で、7月26日（木）から31日（火）10:00～17:00まで、東京ビッグ

サイト東展示1～6ホールにて開催する。

本展示会は、プリプレス、プリメディア、印刷、製本、紙工、ラベル、パッケージング、クロスメディア関連の最新機材・技術・サービスを一堂に会した国際総合印刷テクノロジー&ソリューション展であり、最新技術や様々なソリューションを提案するとともに印刷産業の未来を展望できる場である。1973年より行われ、1979年より2年に1度開催している。今年の出展者数は285（2月末現在）

展示会は6つのゾーンを設けている。

◆パネルディスカッション 様々なテーマのもと、ブランドオーナー視点でのパネルディスカッションを開催。

7月29日（日）11:00～13:00 オフセットとデジタルのハイブリッド利用が生み出す印刷物の新たな形

◆講演・セミナー 7月26日（木）13:30～ FAPGA 国際印刷フォーラム 第1部・基調講演：『印刷産業のグローバルトレンドと革新（仮題）』（米国Association for Print TechnologiesのThayer Long氏）
第2部：FAPGA（Forum of Asia Pacific Graphic Arts）アジア印刷会議の主要メンバーによる各国の印刷業

界の最新状況の発表と、デジタル印刷に関するパネルディスカッションを予定。(参加費2,000円)

- ◆**ツアー** 会場内を実際に見学するツアー(スタンダード、トータルトレンド、テーマフォーカスの3つのコース)を数千人規模で行う。
- ◆**テーマゾーン** フレキシゾーン、東京都中小企業振興公社ゾーン、大学研究室等の次世代印刷技術等を展示する研究・教育ゾーン等を設ける。
- ◆**Japan Printing Exhibition** カレンダー、カタログ、造本装幀、パッケージ、シール・ラベル、メディアユニバーサルデザインなどの各種コンテスト優秀作品を一挙大公開するとともに、印刷産業の広がりや各種の取り組みを紹介。日本印刷産業連合会・日本書籍出版協会主催の「第51回造本装幀コンクール」の受賞作品も展示される予定。
- ◆**スモールスタートゾーン** 主に中小印刷会社を対象とし、小ロット化が進む市場の中で小型・安価な製品を中心に、ユニークな技術や製品を出展。
入場料は2,000円(事前登録無料)。事前申込みが必要なセミナーもあり。詳細は下記を参照。

<https://www.igas-tokyo.jp/>

参考 IGAS2015

出展者数：345社(国内296、海外49)

来場者：56,533名(うち海外来場者5,161)

(詳細問合せ IGAS事務局 TEL 03-3434-2656)

出版ミニセミナー 街の書店の生き残り戦略第3弾

日本書籍出版協会(=書協、相賀昌宏理事長)は、ミニセミナーを定期的実施している。

今回は、6月28日(木)14:30から「無書店地域に本屋を出す、という愚挙をあえてした理由～那須ブックセンター現場報告～」を開催する。

出版社の社長・会長を歴任後、書店の経営者となった内田真吾氏(ベレ出版・取締役相談役)が、街の小さな書店の立場から、今後の展望、出版社への期待を語る。また那須ブックセンター店長の谷邦弘氏が、同店の現状について報告・紹介する。出版物の売上の6割強を占めると言われる書店。街の書店が減少する中、書店と出版社のあり方について考えるセミナーとなっている。

出版ミニセミナーは通常書協会員向けに開催しているが、今回は会員以外にも広く参加者を呼び掛けている。

日時：6月28日(木)14:30～16:30

場所：日本出版会館4F大会議室

対象：書協会員社(先着40名)

受講料：書協会員 1人1,000円(税込)

会員外 1人2,000円(税込)

※当日会場にて支払い。領収書を発行。

締切：6月27日(水)

申込先：<https://goo.gl/forms/U7m8TirjF9I3apHJ3>

(詳細問合せ 日本書籍出版協会 TEL 03-3268-1303)

読書推進イベント(ブックフェア)に関するアンケート結果報告

日本書籍出版協会(書協)ブックフェア委員会では、東京国際ブックフェアに替わる読書推進イベントの開催について検討を行っている。その一環として、2018年3月～4月にかけて、標記アンケートを実施した(回答数138件)。抜粋は以下の通り(※括弧内の数字は回答数)。

○ブックフェアを開催することによって、出版業界の活性化につながる。⇒Yes(122)、No(11)

○ブックフェアに参加する際には費用対効果を最も重視すべき ⇒Yes(100)、No(30)

○出展社としてどのようなブックフェアを希望するか？

- ・本好きな人々が楽しめること(76)
- ・自社のブランドをアピールすること(63)
- ・これまで読まなかった人が本に興味を持つこと(61)

○ブックフェアへの出展を希望するうえで重視する点

- ・出展料(117)
- ・来場者数(68)
- ・開催時期(46)

その他、出展料の上限、今後ブックフェアを開催する場合の提案などを質問。詳細は書協HPに掲載。

(<http://www.jbpa.or.jp/>)

また、今後のブックフェアについての意見を出版関係者のみならず一般の方にも広く募集している。意見投稿は下記URLから。

<https://goo.gl/forms/705XU6FtPQzUgF0x2>

(詳細問合せ 書協調査部 TEL 03-3268-1303)

出版統計

書籍	4月期	前年同月比	1～4月期	前年同期比	書籍出回り	4月期	前年同期比	1～4月期	前年同期比	
新刊点数	6,736点	98.6	24,267点	100.0	推定出回部数	7,201万冊	96.7	35,133万冊	96.0	
新刊推定発行部数	2,677万冊	103.5	10,505万冊	100.2	推定出回金額	831億円	97.9	4,153億円	97.1	
新刊平均価格	1,152円	98.2	1,175円	99.6	推定出回平均価格	1,154円	101.2	1,182円	101.2	
新刊推定発行金額	308億円	101.6	1,235億円	99.7	実売部数	4月期	前年同期比	1～4月期	前年同期比	
月刊誌	4月期	前年同月比	1～4月期	前年同期比	書	籍	4,450万冊	96.7	22,781万冊	95.8
発行銘柄数	2,135点	95.7	2,646点	97.0	月刊誌	6,408万冊	83.5	25,445万冊	84.3	
推定発行部数	11,822万冊	84.9	45,974万冊	87.5	週刊誌	2,421万冊	82.7	10,288万冊	85.9	
平均価格	631円	101.0	644円	100.9	実売金額	4月期	前年同期比	1～4月期	前年同期比	
推定発行金額	746億円	85.7	2,962億円	88.3	書	籍	538億円	97.7	2,847億円	96.9
週刊誌	4月期	前年同月比	1～4月期	前年同期比	月刊誌	393億円	84.3	1,613億円	85.1	
発行銘柄数	75点	98.7	76点	97.4	週刊誌	87億円	83.8	367億円	87.6	
推定発行部数	4,152冊	87.3	16,908万冊	89.3	実売金額合計	1,019億円	90.8	4,826億円	91.9	
平均価格	368円	100.5	366円	101.9						
推定発行金額	153億円	87.8	620億円	91.1						

- 銘柄数 月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
- 部数 配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したのもの。
- 平均価格 部数を加味した加重平均価格(税抜)
- 金額 発行部数・出回り部数を価格で換算した金額

[提供 出版科学研究所 (TEL.03-3269-1379)]

EVENT INFORMATION

6月16日～9月17日 **グラフィックトライアル2018** (場所 印刷博物館P&Pギャラリー)

内容 グラフィックの可能性を印刷で探るポスター展

<https://www.toppan.co.jp/biz/gainfo/graphictrial/2018/>

6月23日～7月8日 **絵本展示会「フランス 絵本の世界によろこそ」** (場所 東京都立中央図書館)

内容 200冊以上の絵本を、フランス語原作と日本語翻訳で、実際手にとって閲覧できる展示会

- ・6月23日11時～12時半 **開会式と展覧会のガイドツアー** (於 東京都立中央図書館)
- ・6月24日15時～16時半 **パスカル・アンペールによるワークショップ「文字で遊ぼう」** (於 アンスティチュ・フランセ東京 メディアテーク)
- ・6月26日19時～20時半 **絵本作家ジュリアン・マグナニを迎えて「フランスの絵本におけるデザインとは？」** (於 アンスティチュ・フランセ東京 メディアテーク)

詳細 <http://www.institutfrancais.jp/tokyo/events-manager/exposition-voila-lalbum/>

(問合先 アンスティチュ・フランセ東京)

編集後記

先日、造本装幀コンクールの審査会がありました。審査員の方々の作品の解説がとても興味深く、勉強になります。次号にて賞の発表を本紙でもご紹介いたします!(あ)

当協会主催の日本・ベトナム2国間商談会に行っていました。ベトナムの平均年齢は30歳とのことで、新しい知識やコンテンツに対する関心度が強く、日本の書籍に対する「ハンパない」熱意が直に伝わり、改めて「本」の力を感じました。(吉)

一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人: 中町英樹

〒162-0828 東京都新宿区袋町6

TEL: 03-3268-1301

FAX: 03-3268-1196

Web サイトもご覧ください

<http://www.jbpa.or.jp>